

竹原市^初 日本遺産に認定

《日本遺産を活用したまちづくりを進める》

1 概要

竹原市は、文化庁からすでに認定を受けている日本遺産「北前船寄港地・船主集落」※の新たな構成自治体として、追加認定されることが決まりました。

※正式名称は、「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

2 北前船と竹原の関わり

北前船は、江戸時代中期から明治にかけて大量の荷物を積んで日本海を北海道から大阪まで往来した船で、竹原や忠海にも寄港しました。

竹原では主に塩を購入し、忠海では周辺から集められてきた様々な物資を取引していたことがわかっています。竹原の塩は、遠く北海道にまで運ばれていきました。

3 北前船に関連する竹原市の文化財（5点）

① 竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区

北前船の商人による塩の買い付けなどで繁栄した江戸時代の趣を留めています。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。



② 旧吉井家住宅

北前船の船乗りたちが宿泊した記録が残されている竹原一の塩問屋の邸宅。市重要文化財。

③ 常夜灯群

北前船の入港の目印となった常夜灯。



④ 市立竹原書院図書館資料群

北前船の商人たちとの交易記録や塩の販売量等を記しています。

⑤ 紙本著色 竹原絵屏風

北前船の商人による塩の買い付けなどで繁栄した1800年頃の竹原の町並みを描いた絵屏風。繫留する北前船も描かれている。市重要文化財。

4 これまでの日本遺産「北前船」の認定状況

平成 29 年 4 月	日本遺産「北前船」が認定（構成市町 11 市町）
平成 30 年 5 月	27 市町が追加認定（構成市町 38 市町）
令和 元 年 5 月	竹原市を含む 7 市町が追加認定（構成市町 45 市町）

5 今後の取組

令和元年 6 月 19 日（水）	日本遺産認定セレモニー・講演会
令和元年 7 月～令和 2 年 3 月	町並み保存センター特別展「北前船と竹原」展
令和 2 年 1 月（予定）	日本遺産パンフレットの作成・配布

※ このほか、関連する取組は、市の HP や Facebook でも順次発表していきます。

6 関係者のコメント

□竹原市長 今榮 敏彦

このたび、本市が日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定され、大変うれしく思います。

本市は、広島県の中央部瀬戸内海沿岸に位置し、江戸時代に製塩業でまちが繁栄し、製塩業で財を成した町人たちが竹原独自の町人文化を築き上げたという歴史を有しています。

今回の認定を機に、日本遺産「北前船」認定市町 45 市町で連携しながら、「北前船」を活用したまちづくりを進めていきたいと思ひます。

市民の皆様が誇らしいと思える『元気な竹原市』の実現に向けて取り組んでまいりますので、関係者の皆様の御協力をお願いします。

□竹原市教育委員会教育長 高田 英弘

このたび、本市の製塩業や港町としての歴史や文化財等が高く評価され、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定されました。改めてこれまでの竹原市の歩みや、まちづくりに携わってこられた先人たちに敬意を表します。

本市の日本遺産「北前船」認定は、竹原や忠海が塩をはじめとする様々な物資の交易で繁栄したことを示すものです。認定を受け、学校教育の現場においても「北前船」という観点から郷土について学ぶ機会を創出し、子供たちに本市を愛する心情や誇りを育てていくとともに、本市が有する「北前船」関連文化財の保存や活用を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様の御協力をよろしくお願ひいたします。

問い合わせ

竹原市教育委員会 教育振興課 文化財保護係 担当：林

T E L 0846-22-2328 F A X 0846-22-8460